

地域(亀山市)と連携の取れた三重県づくり

三重県議会議員 長田たかひさ 県政レポート！

所属委員会

- ・健康福祉病院常任委員会 委員
(社会福祉対策、保険医療行政の推進、病院事業の運営等についての審査・調査)
- ・予算決算常任委員会 委員
(予算、決算など県財政についての審査・調査)
- ・地域経済活性化対策調査特別委員会 副委員長
(地域経済活性化対策についての調査)

長田たかひさ事務所

〒519-0124
亀山市東御幸町233-2

TEL 0595-82-8700
FAX 0595-82-8775

ホームページ
<http://www.enjoy-nagata.jp/>



◇皆様のご意見をお聞かせ下さい！

○第1回定例会(2月16日～6月30日)から

※第7次緊急雇用・経済対策

□雇用対策 110億3400万円

- ①緊急的な雇用機会の創出
- ②重点分野における雇用機会の創出
- ③継続的な雇用機会の創出
- ④雇用につながる就労支援

□経済対策 72億4200万円

- ①中小企業等の経営安定化への支援
- ②地域経済活性化への支援
- ③将来に向けたチャンスづくり
- ④国の対策と連動した事業の推進

□生活対策 62億9700万円

- ①生活への支援
- ②働きやすい環境づくり



※県立病院改革

□総合医療センター

平成24年4月を目途に地方独立法人(地方公共団体が設立する法人で、目標管理制度の導入が義務付けられている)へ移行し、県立病院として運営される。尚、地方独立法人化にあたっては、まず特定地方独立法人化(職員として地方公務員法の適用を受ける法人)を基本に関係機関と調整を行う。

□志摩病院

平成24年4月を目途に指定管理者制度(民間事業者を含めた法人その他の団体の中で最も適した者に公の施設の代行をさせることによって、住民サービスの向上と経費の削減などを図る制度)へ移行し、県立病院として運営される。尚、6月中を目途に募集要項を決定し、公募の手続きを進める。

□一志病院

当分の間、「地方公営企業法の全部適用(財務に関する規定だけでなく、組織、職員の身分取扱に関する規定についても適用する)」を継続し、県立病院として運営する。尚、平成24年4月までに、方向性を再検討する。

□こころの医療センター

「精神保健及び精神障害者福祉に関する法律」で、県に設置が義務づけられている精神病院であるので、「地方公営企業法の全部適用」を継続し、引き続き、県立病院として運営する。

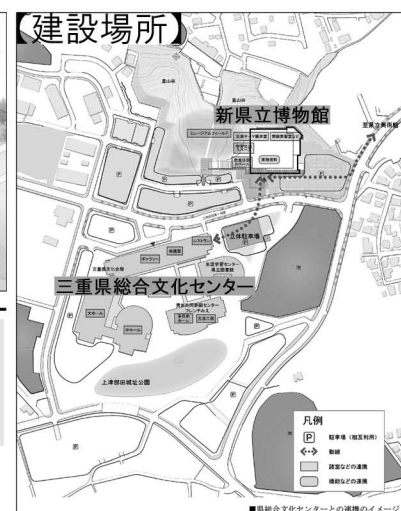
※新県立博物館

「三重の自然と歴史・文化」を育み、みなさんと「ともに考え、活動し、成長する博物館」を目指し、総事業費約120億円をかけ、平成22年度に着工し、平成26年に開館を目指す。

【鳥瞰イメージパース】



【建設場所】



○予算決算常任委員会総括質疑(3月9日)内容

(1) 歳入増加策について

- ① 企業誘致
- ② 観光誘客
- ③ 自主財源の確保

(2) 地域産業の振興について

- ① 中小企業等の経営安定化への支援
- ② 地域商業の活性化

(3) 交通網の整備について

- ① 地方バス路線
- ② 鉄道利便性の向上

○抜粋

質問 第6次の緊急雇用・経済対策で小規模事業者の資金繰り等を支援するために、小規模事業資金に、借換可能な『小規模事業経営サポート資金扱い』が追加されたが、その取扱期間が12月1日から3月31日の4ヶ月間と短かった上に、なかなか周知が行き届いていなかったように思われるが、今後は、融資制度等の周知方法はどうしていくのか。【(2)-①】

答弁 3月下旬に、中小企業者や商工団体等を対象に、新たに中小企業等支援説明会を行うとともに、引き続き、商工団体等への制度説明会、商工会・商工会議所等の広報誌掲載や新聞広告をはじめ、様々な広報を実施していきたい。

質問 地域の生活交通を担うバス等については、事業者路線や市町が自主運行するバス等に対する補助金等の支援が行なわれているが、市町を越えたバス等について、どのように取り組むのか。【(3)-①】

答弁 市町域を越えて連携する取組がなされていないことから、利用される方の利便性を高めるため、平成22年度に「県と市町の地域づくり連携・協働協議会」等で議論していきたい。

質問 三重県内の鉄道利便性の向上に向けて、例えばJR西日本旅客鉄道とJR東海旅客鉄道の待ち時間短縮について、どのように取り組むのか。【(3)-②】

答弁 「三重県鉄道網整備促進既成同盟会」「関西本線複線電化促進連盟」による要望活動に加えて、利用促進につながるような取組も行っていきたい。

